

中学生の主張・作文が表彰されました



中学生の主張大会

第39回中学生の主張大会が11月3日、たましんRISURUホールで行われました。当日は市内中学生3165人の応募から選ばれた中学生が、日常生活において、家族や友人、社会との関わりの中で気持ち、考えたことを発表しました。主な入賞

者は次のとおりです。《敬称略》

- ▼市長賞 下津浦美結(二中1年)
- ▼議長賞 佐々木優希菜(三中3年)
- ▼張替望恵(七中3年)
- ▼教育長賞 黒澤美春(一中1年)
- ▼五十嵐里桜(六中3年)
- ▼特別賞 水谷悠里(二中3年)
- ▼大石はんな(五中1年)
- ▼青少年問題協議会会長賞 下田凜(六中2年)
- ▼浅井紗和(三中2年)

中村望愛(八中1年)、佐藤ほの(二中2年)、大平静(一中2年)、青木小梅(二中1年)、前川実貴(四中2年)、室久保有紗(九中3年)

「税についての作文」「税の標語」表彰

次代を担う中学生の皆さんに税への関心と理解を深めてもらうことを目的としているコンクールで、市内の中学生が受賞しました。《敬称略》

税がつかないだ笑顔の輪 安心、安全、地球の輪

税課税課諸税係・内線1201

全国中学生人権作文コンテスト

中学生が人権尊重の大切さを考え、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に行われる全国

- 税についての作文 ▼市長賞 齋藤瞳(九中3年)
- ▼教育長賞 新本朱萌(四中3年)
- 税の標語 ▼市長賞 梶島由奈(五中1年) 《左記参照》

中学生人権作文コンテストで市内中学生が次のとおり入賞し、立川地区人権擁護委員会による表彰式が行われました。《敬称略》

- ▼東京都大会奨励賞(立川市長賞・立川地区人権擁護委員会最優秀賞) 松岡優希乃(三中2年)
- ▼東京都大会作文委員会賞(立川地区人権擁護委員会優秀賞) 平島弥奈(四中3年)
- ▼藤森瑠香(七中2年)
- ▼多摩西人権擁護委員会会長賞(立川地区人権擁護委員会入選) 浅井紗和(三中2年)
- ▼進藤心華(四中3年)
- ▼小椋羽流(七中2年)
- ▼鈴木苺香(八中2年)
- ▼川名麻心(七中2年)
- ▼立川地区人権擁護委員会佳作 尾崎美紅(七中2年)
- ▼畑中花菜(七中2年)



立川市人権作文表彰式の様子

第39回中学生の主張大会

市長賞

打たれない杭

下津浦 美結(二中1年)



「出る杭は打たれる」ということわざがある。このことわざでいう「出る杭」は周囲より優れている所のことだ。どうやら最近の日本人は、自分の出る杭をおさえ込み、なるべく普通の杭でいたがっているように思う。だが、皆のなりたいがる「普通」とは、そもそも一体何なのだろうか。

辞書の中の普通は「どこにでもあるようなありふれたもの。他とは異なる性質をもっていないさま」という意味だ。だが、実際に使われている普通は、もっと差別的な意味を持っているように思う。普通の持つ力は、とても強い。なぜなら普通はただ単に、多数派の価値観だからだ。人は一人ひとり、自分の中に「普通の価値観」を持っている。それが、他者の持つ「普通の価値観」とどれ程合うかだ。多数の人が「これが普通」と言ったら、その価値観が「普通」に決まるのだ。だから自分の価値観が「普通」と違えば、自分は「異常な人」になってしまう。

だが、普通が多数決なのであれば、普通は幻だろう。だってそんなものは、人、時、場所等の様々なものによって変化するからだ。私は二つ上の兄から、その事を学んだ。

兄は小学校低学年の頃、学校の問題児だった。「自分が納得したこと以外はやらなさい」というのが兄の「普通」だったからだ。だから体育の時間だつて、校庭なんか行かず教室で本を読み続けた。そんな兄に先生は「体育の時間だから」という理由で校庭へ来いと言った。けれど兄には「体育の時間だから」という理由では納得できなかった。自分の納得できる答えをくれない先生に、兄は不信感を覚えるようになり、反抗的な態度を取り続けた。しかしそうする中で、友達も失った。それからは自分の不信感をおさえ込み、兄は普通になった。けれど兄の中には「自分の居場所はどこではない」という思いがあった。そこで兄は猛勉強をし、自由な校風の私立中学に入

学した。同じような価値観を持つ仲間の中で、兄の「普通の価値観」通りに行動して、変と思われれることはなかった。出る杭でいらこんなふうに、自分の普通で行動できる場所はきつとある。

思えば、私の家は普通の家庭ではなかったかもしれない。週末にはキャンプだ、山だの家を空けていた。日本の高い山ベスト5を制覇したのは、私が小学校一年生の時だ。週末家にいない私の家は「変わった家庭だ」と陰口を叩かれることもあった。だが両親は世間の評判は気に掛けず、我が家流を押し通した。兄と私の中にも、そんな考えが「普通」として身についたのかもしれない。

私達はきつと「普通じゃない」をひとつくらい持っているはずだ。私の周りにいる人も、多少なりとも皆持っている。私も女子なのに髪は短く、スラックスをはいている。周囲から見れば普通ではないのだろう。だが私は、普通じゃない

いことを恐れたりしない。「普通じゃない」は言い換えれば「個性」だと思おう。それに私は、普通を幻と思うようになってから「普通」が何なのかが分からなくなつた。ならば他人の価値観の中に普通を探すよりも、自分の普通を信じたと思うようになったのだ。

「出る杭は打たれるが出すぎた杭は打たれない。」これはパナソニックを一代で築き上げた経営者、松下幸之助さんの言葉だ。私はこれを聞き、「自分が一杯力を出し尽くせば、周囲から打たれることは無い」とそう思えた。多様化するこの社会で、私達一人ひとりの輝ける場所はきつとある。皆が、自分の輝ける場所ですら誰にも打たれない「出る杭」になつてほしいと願う。また、私自身も私のもつ言葉で、少しでも多くの人々の心を動かせる杭になりたいと強く思う。皆が、自分の杭を伸ばし続けられる世の中へと変える手助けをする杭になりたいと、強く思う。

小・中学校給食の食材料納入事業者の指定申請を受付

令和2年・3年度の小・中学校給食の食材料納入事業者の指

生活安全課市民相談係 ☎(528)4319

- 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の申請期限は1月31日(金)です。未申請の方は、早めに申請してください。
- 支給額 1万7500円
- 子育て推進手当・医療費給付係・内線1350
- 心身障害者タクシー・リフトタクシー・ガソリン費助成事業の協力事業者を募集
- 令和2年度から、心身障害者タクシー・リフトタクシー・ガソリン費助成事業に協力していただける事業者を募集します。協力事業者は、事前に市と協定を締結する必要があります。くわしくは、市ホームページをご覧ください。
- 障害福祉課・内線1518
- 定申請を受け付けます。申請方法等、くわしくは市ホームページをご覧ください。
- 選考基準 都内か近県に営業所があり、定められた時間に配送できる
- 2年以上営業活動をしていて経営状況が良好
- 食材料の取り扱いが安全かつ衛生的である、など。
- 受付期間 1月7日(火)～2月7日(金)
- 受付場所 学校給食課(学校給食共同調理場内)
- 中学校給食課管理係 ☎(529)3511